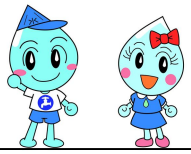
よりいまち

上下水道通信



令和８年度春夏号
（2026 年 4 月発行）
第６号

ー寄居町上下水道事業審議会から答申を受けました！！ー

水道事業・農業集落排水事業は令和３年３月に策定した経営戦略に基づき、下水道事業は令和５年３月に改定した経営戦略に基づき、それぞれ事業を推進してきました。

しかしながら、人口減少などによる使用水量の伸び悩み、物価高騰による経費の増大など、策定時とは状況が変化しています。このような中にあっても事業を安定的に継続していくため、経営戦略の改定に着手し、学識経験者や受益者代表等で構成される寄居町上下水道事業審議会（委員１１人）に対し、令和7年7月30日に経営戦略の改定について諮問しました。

これを受けて、上下水道事業審議会は3回にわたり慎重に審議を重ね、令和8年2月27日に大野チヨミ副会長から町長に対し、答申書が手渡されました。各経営戦略についての詳しい情報は、町公式ホームページをご覧ください。





寄居町公式ホームページ

ー経営戦略の改定？　どういうこと？？ー

町の水道や下水道を、これからもずっと安心して使い続けるための「１０年間の計画」を作り直しました、というお話です。「水道と下水道の経営をどうすれば守れるか」を真剣に話し合い、まとめた報告書です。

水道管や下水道の施設は、時間が経つと古くなり、壊れやすくなります。一方で、町に住む人が減ったり、節水タイプのトイレや洗濯機が普及したりして、町に入るお金（水道料金など）は減っています。このままでは、いざという時に水が出なくなったり、修理ができなくなったりするかもしれません。それを防ぐために、計画的な準備が必要です。

これを「古くなった自宅の修繕」に例えてみましょう。30年住んだ家の屋根がボロボロになり、地震対策も必要になったとします。でも、家族が減って収入が減り貯金も少なくなっています。このとき、「いつ、どこを直すか」「お金はどうやって準備するか（ローンを借りるか、節約するか、収入を増やすか）」をしっかり決めるのが、今回の「経営戦略の改定」にあたります。

改定した経営戦略には、今後の料金値上げに関係する記述もあります。「料金が上がるのは、無駄遣いをしているからだ」と思われがちですが、そうではありません。人口が減っても、町中に張り巡らされた管を維持する費用は減らないため、みんなで少しずつ負担を分かち合う必要が出てきているのです。

令和８年度水道事業会計・下水道事業会計予算

令和８年度水道事業会計・下水道事業会計予算の内容についてご紹介します。

１ 水道業務の概況について

【水道事業】	令和８年度予算数値	令和７年度予算数値	前年度との比較
給水人口(水道の使用者数)	30,608 人	31, 010 人	△402人
給水戸数(水道の使用戸数)	15,578 戸	15, 602 戸	△24戸
年間給水量(皆様に配った水の年間総量)	4,502,457 ㎥	4, 470, 886㎥	31,751 ㎥
１日平均給水量(年間給水量÷365 日)	12,335 ㎥	12, 249㎥	86㎥
主要な建設改良事業費(工事等の費用)	1,235,726 千円	1, 254, 394千円	△18,668 千円

２【水道事業】主な収入支出の内訳

水道事業会計は、主に水道料金等の収入と水を作ったり配ったりするための支出からなる「収益的収入支出」と、浄水場等の施設や水道管等を整備・改良するための収入支出からなる「資本的収入支出」の二つに分かれています。 その金額と内訳は次のとおりです。

【水道事業】

⑴ 収益的収入支出(消費税込)

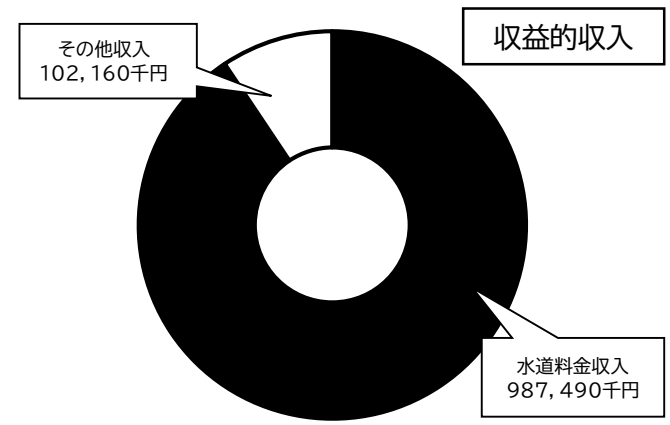
収益的収入	１，０８９，６５０千円
収益的支出	１，０５６，７８２千円
収支差額	３２，８６８千円

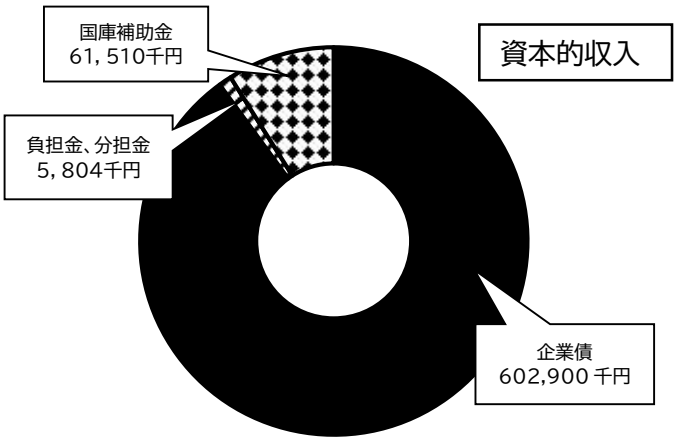
※ 当年度純利益は消費税抜の収入支出の差引により算出されます。

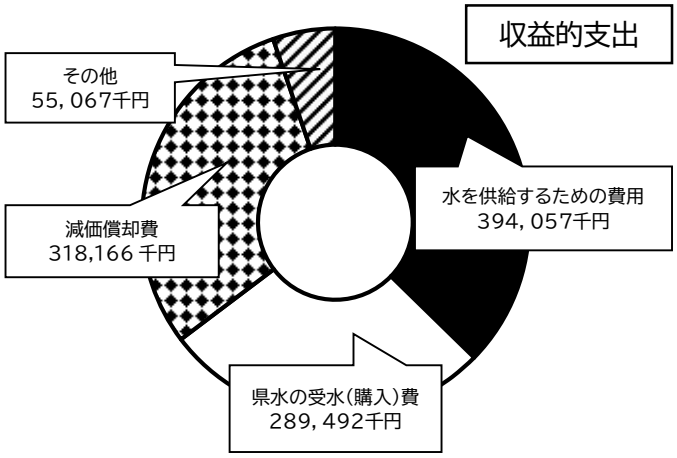
⑵ 資本的収入支出(消費税込)

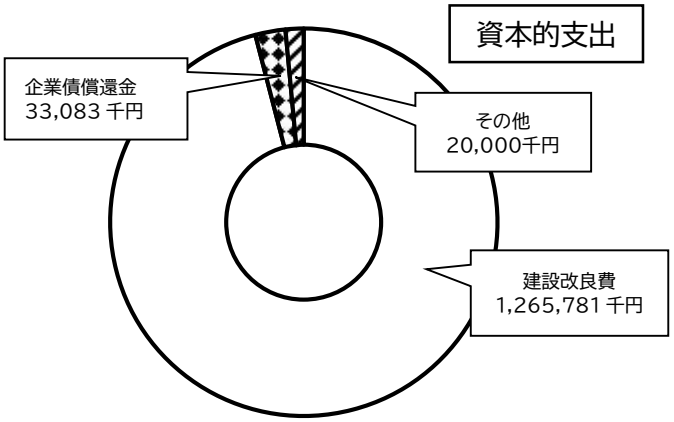
資本的収入	６７０，２１４千円
資本的支出	１，３１８，８６４千円
不足額※	６４８，６５０千円

※ 不足額は内部留保資金(会計内に留保している資金)により補填しています。









3【下水道事業】業務の予定量

下表の数値は、公共下水道・農業集落排水の合算です。

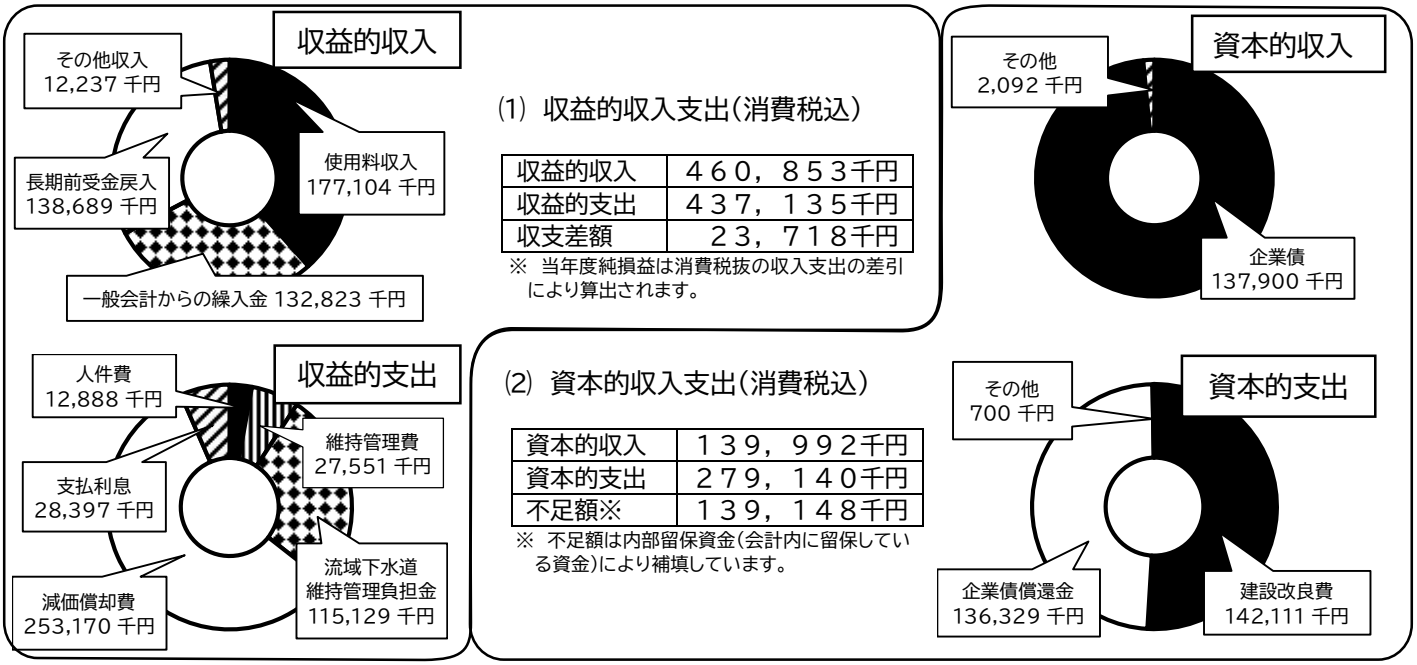
【下水道事業】	令和８年度予算数値	令和７年度予算数値	前年度との比較
処理区域面積（下水道を整備済の面積）	612ha	609ha	3ha
水洗化戸数（下水道の使用戸数）	3,787 戸	3,694※戸	93 戸
年間有収水量（使用料の基となる水量）	1,228,235 ㎥	1,217,849 ㎥	10,386 ㎥
主要な建設改良事業費（工事等の費用）	151,094 千円	61,226 千円	89,868 円

※令和7年度の水洗化戸数は、人口動態（転入・転出等）を反映するため、下水道事業経営戦略における人口推計と同じ方法で補正しており、予算議案の数値（4，389 戸）と異なっています。

4【下水道事業】主な収入支出予定額の内訳

下水道事業会計は、主に使用料等の収入と汚水をきれいにするための支出からなる「収益的収入支出」と、管渠や処理場等の施設を整備・改良するための収入支出からなる「資本的収入支出」の二つに分かれています。その金額と内訳は次のとおりです。

【公共下水道事業】



(1) 収益的収入支出（消費税込）

収益的収入	４６０，８５３千円
収益的支出	４３７，１３５千円
収支差額	２３，７１８千円

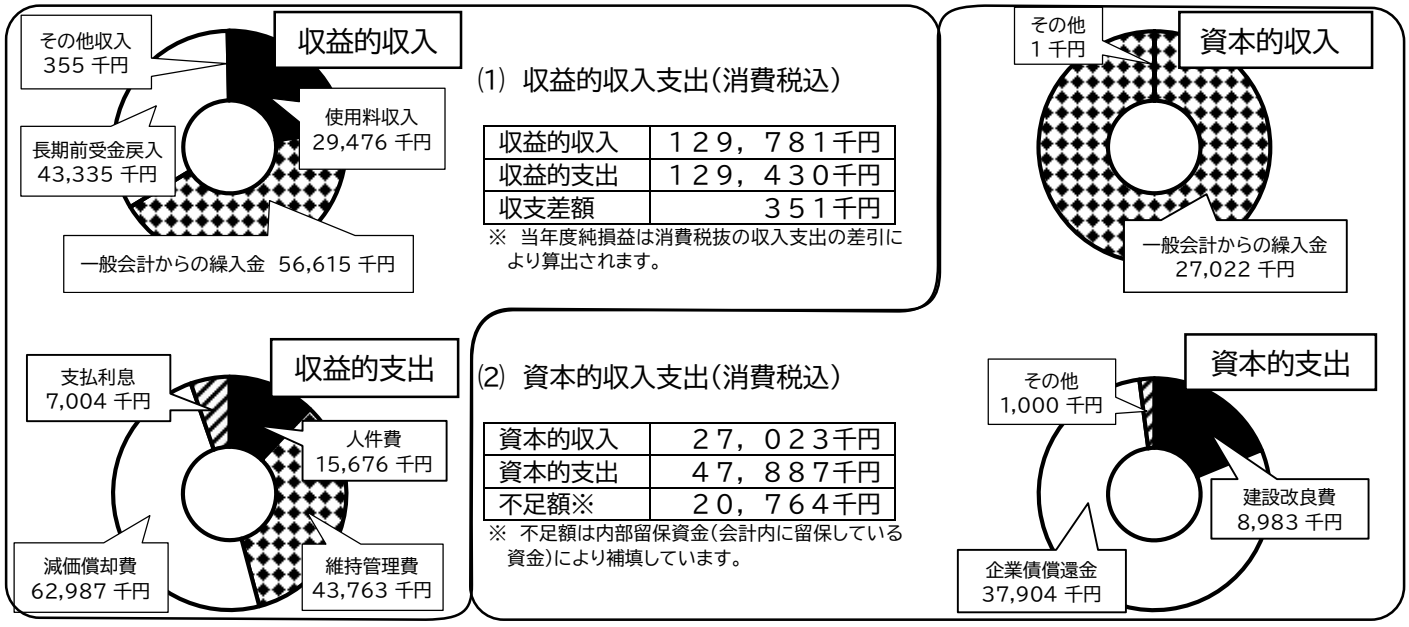
※ 当年度純損益は消費税抜の収入支出の差引により算出されます。

(2) 資本的収入支出（消費税込）

資本的収入	１３９，９９２千円
資本的支出	２７９，１４０千円
不足額※	１３９，１４８千円

※ 不足額は内部留保資金（会計内に留保している資金）により補填しています。

【農業集落排水事業】



(1) 収益的収入支出（消費税込）

収益的収入	１２９，７８１千円
収益的支出	１２９，４３０千円
収支差額	３５１千円

※ 当年度純損益は消費税抜の収入支出の差引により算出されます。

(2) 資本的収入支出（消費税込）

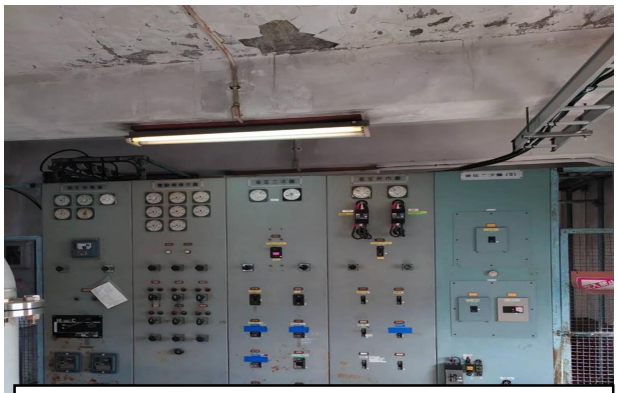
資本的収入	２７，０２３千円
資本的支出	４７，８８７千円
不足額※	２０，７６４千円

※ 不足額は内部留保資金（会計内に留保している資金）により補填しています。

ー迫り来る老朽化の波ー

寄居町の水道は、昭和36年4月の給水開始から5度の拡張事業の実施を経て、今年で65年が経過しようとしています。

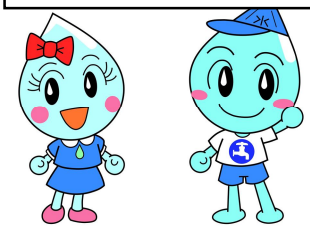
皆様に安全で安心な水を届けるため、水道施設や管路は毎日休みなく稼働しているため、機械や管路の劣化を止めることはできず、故障や漏水事故も発生しています。



象ケ鼻浄水場の高圧受電盤
昭和46年から都度部品の交換をしつつ毎日稼働しています。



昭和63年埋設 塩ビ管、口径50㎜
破損による漏水により道路上が水浸しになってしまった様子



機械の故障や漏水事故は毎年発生しています。
特に漏水事故は軽微のものも含め、過去５年間の平均で130件以上発生しています。

ーどう対応していく？ー安全で安心な水道のために

町では、機械の点検を行い、その結果に基づいた計画的な更新を行うとともに、漏水事故を防ぐため漏水調査を実施し、事故を頻繁に起こす可能性のある管路の優先的な更新を行っています。

同時に、災害にも対応できるよう水道施設の更新も計画的に行っています。

しかしながら、これらの事業を実施するためには多額の更新費用が必要です。

物価高などにより町の水道事業を取り巻く環境は非常に厳しく、事業を実施したくても、一部の事業しか実施することができない現状です。今後とも皆様に安全で安心な水を届けるためには、早急な財源確保が必要となります。

編集・発行　寄居町上下水道課
〒369—1292
埼玉県大里郡寄居町大字寄居1180番地1
○電　話　048—581—1261
○FAX　048—581—7531
○メール　zg121g@town.yorii.saitama.jp
・定期発行：年2回（春夏号・秋冬号）　・臨時発行：随時